

## 付 録 B    トランスクリプトの表記法

エソノメソドロジに代表される相互行為分析では、会話、および身体行為を表記するための手法として、トランスクリプトと呼ばれる表を利用する。

トランスクリプトの表記法には種々あるが、本論文では山崎らによる著書[山崎 97]で用いられた表記法を基本としている。会話や行為は、下に示される記号を用いて表記される。トランスクリプトはオーケストラで用いる総譜（スコア）のように時系列に沿った表記を行う。即ち、横方向に時間軸を取ることによって会話や行為の流れを示す。また、複数の作業による行為は時間軸が同じになるように、縦方向に列挙する。

(数値)：丸括弧で括られた数字    沈黙の長さ。0.1秒単位で表記する。例えば、(0.7) という表記は 0.7 秒の沈黙を意味する。

(.)：丸括弧で括られたピリオド    小休止。0.2秒以下の沈黙を表現する時に用いる。

( )：丸括弧    何か言葉が発せられているが、聞き取り不能であることを意味する。また聞き取りが確定できない場合も、当該文字列が丸括弧で括られる。

::：コロンの列    直前の音がのばされていることを意味する。コロンの数でのばす長さを意味する。

//：複数行の同じ列に置かれた二重スラッシュ    同時に発話されたことを意味する。

=：行末と行頭に置かれた等号    途切れなく言葉がつながっていることを意味する。

\_\_\_：下線    発言が強調されていることを意味する。

↑：上向き矢印    語尾のイントネーションが上っていることを意味する。

↓：下向き矢印    語尾のイントネーションが下っていることを意味する。

A: 文字列 ある行為 A が行われたことを意味する。割り振る英文字は、その時点で用いるトランスクリプトによって異なる。

-: ハイフン 直前のことばが不完全なまま途切れていることを意味する。

hhh: h の列 呼気音（息を吸う音）を意味する。

.hhh: 直前にピリオドを伴う h の列 吸気音（息をはく音）を意味する。